

2017年1月6日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報(2017年3号)

リオ市内イパネマ地区でナイフ使用の強盗事件(邦人被害)が発生

当地文民警察観光警察署によれば、1月4日、リオ市イパネマ地区で邦人が被害者となる強盗事件が発生しています。

1 発生日時

1月4日(水)午後6時ころ

2 発生場所

リオ市イパネマ地区

地下鉄ジェネラル・オーゾリオ駅付近

3 発生状況

上記日時において、邦人観光客(女性)2名が上記イパネマ地区の地下鉄駅を出て、同地区バラオン・ダ・トッヘ通り(Rua Barao da Torre)にさしかかったところ、Jose Linhares市立学校前において、自転車に乗った3名の男に囲まれ、うち一人がナイフを用いて所持品を渡すよう要求した。被害者がスマートフォン、カメラ等を渡すと、犯人らは立ち去った。邦人2名に怪我はなかった。

4 留意事項

- (1) 常に周囲に気を配り、危険を感じたら安全を確保する退避行動を取りましょう。
- (2) 外出する際は、華美な服装は避け、なるべく軽装で歩きましょう。
- (3) スマートフォン、カメラは、使用しない間は鞆やポケット等に収納し、外見から所持していることが分からないようにしましょう。
- (4) 万が一強盗に遭ってしまった場合は、決して抵抗せず、素直に相手の要求に応じて下さい。